

令和4年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

令和4年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	65.6%					○
算数	63.2%					○
理科	63.3%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	69.0%					○
我が国の言語文化に関する事項	77.9%					○
話すこと・聞くこと	66.2%	○				
書くこと	48.5%					○
読むこと	66.6%		○			

【考察】

- 漢字を文の中で正しく使うとともに、配列などに注意して書いたり、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えたりする問題の正答率が全国平均を大きく上回りました。今後も、学習のねらいを明確にした指導を継続していくことで、「書くこと」の力を伸ばしていきます。
- 「話すこと・聞くこと」では、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること、「読むこと」では、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えたり、表現の効果を捉えたりする問題の正答率が全国平均を下回りました。今後は、特に、中学年の内容である話のやりとりを踏まえながら聞きたいことを捉えたり、複数の叙述を基に登場人物の気持ちを捉えたりする学習を丁寧に行っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	69.8%					○
図形	64.0%				○	
変化と関係	51.3%					○
データの活用	68.7%			○		

【考察】

- 「変化と関係」では、「伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する」問題の正答率が全国平均を大きく上回りました。日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解できるようにするとともに、理解したことを友達に説明する活動に取り組んできたことが力につながってきたと思われます。
- 「変化と関係」や「数と計算」、「図形」では、記述の問題においても全国平均を上回りました。今後も、問題文を適切に読み取り、解答に必要な条件を捉える指導や、類似問題にも取り組ませる指導を繰り返し行い、解ける喜びを味わわせるようにしていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	51.6%			○		
粒 子	60.4%					○
生 命	75.0%				○	
地 球	64.6%					○

【考 察】

- 「粒子」では、特に「予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ」問題や「用具の理解や正しい扱い方を理解する」問題の正答率が全国平均を上回りました。今後も、自分の予想だけではなく、自分の考えとは異なる友達の予想も捉えて、解決方法を発想し、観察、実験する場を設けて、記述する力をより高めていきます。
- 「エネルギー」では、既習事項である光の性質に関する問題の正答率が全国平均を下回りました。選択式の問題でも、既習事項を基に、問われている問題文を正しく読み取る学習を丁寧に行っていきます。

令和4年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		よくしている	ときどき している	あまり していない	全く していない
小	全 国	27.5	43.6	21.4	7.4
6	みさか小	32.1	45.2	18.9	3.8

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「自己マネジメント力」を育てるために、「生活ノート」に自主学習の計画・内容欄と自己評価欄を設けて、それらを保護者の方に確認してもらえるよう連携を図ってきました。少しずつではありますが、「計画→実行→見直し」のサイクルで自己マネジメントできるようになってきています。
- 今後も自己マネジメント力を高めていけるように、「生活ノート」の改善を図ったり、自主学習ノートを掲示したりするなどして、家庭学習への意欲を高め、計画的に取り組めるよう指導していきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2
6	みさか小	7.5	7.5	56.7	24.5	1.9	1.9

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、6年生の家庭学習の目安を70分以上（10分×学年+10分）としています。1時間以上学習している児童は全国平均よりも多く、家庭学習の習慣が身に付いてきています。
- 1時間未満の児童が3割程度いますので、徐々に学習時間を増やしていけるよう今後も「家庭学習の手引き」や「生活カード」を活用して学校と家庭が連携しながらよりよい家庭学習の習慣づくりに努めていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全 国	7. 2	10. 1	19. 1	23. 2	14. 1	26. 3
6	みさか小	7. 5	9. 4	20. 8	37. 8	15. 1	9. 4

(単位 %)

【考 察】

- 読書への関心・意欲を高めるために、学年ごとの多読書の表彰や委員会活動によるスタンプラリーなどを実施したこともあり、昨年度と比較すると、一人一人の読書時間が長くなってきています。今後も、図書ボランティア等による読み聞かせやマイバックの活用を図りながら、本の楽しさを知り、自分で読書をする時間をつくれるように、意識改革を図っていけるように努めていきます。
- 本校には、学校司書が配置されています。今後も、学校司書と連携を図りながら、学習から発展した読書や本による調べ学習に効果的に取り組んでいきます。

4 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。

		ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
小	全 国	6. 9	14. 8	23. 5	28. 7	25. 8
6	みさか小	22. 6	37. 8	28. 3	7. 5	3. 8

(単位 %)

【考 察】

- 本校は、「ほぼ毎日」と回答した割合が全国平均を大きく上回っており、ICT機器を積極的に使用して学習に取り組んでいることが分かります。今後も、児童の主体的な学習を促す授業の工夫とともに、効果的なICT機器の活用を図った授業を実践していきます。
- 9割を越える児童が、自分の考えをまとめ、発表する場面でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、学習に役立つと考えているための結果と考えられます。